







東広島市災害復旧予定のお知らせ ～安芸津エリア～

復旧の 予定

- 令和4年度上期… 
- 令和4年度下期… 
- 令和5年度末… 
- 令和6年度末… 
- 治山・砂防ダム…  (未復旧)
 (完了済)

※現場の状況等によっては計画に変更が生じる可能性があります。



詳細の地図はこちらからご覧ください



安芸津エリア

被災の特徴や復旧の工程

東広島市全域において、平成30年7月豪雨により甚大な被害を受け、さらには令和2年や令和3年に豪雨により再度被災するなど、毎年のように豪雨災害が発生しています。

安芸津町における被災の特徴としては、溢水や護岸の洗堀、土砂流入などの水系被害が多くあったことが挙げられます。これは、河川の最大水量を大幅に超過する規模の豪雨により引き起こされたものでした。

本市では、一日も早い復旧に向けて取り組んでいますが、安芸津町の被災箇所は狭隘な谷あい位置している場合が多いため、道路が狭小で工事車両等が離合できず、手前から順番に復旧していく必要があること、工事車両等の通行や迂回路のために仮設道路を設置する必要があること等により、非常に多くの時間を要しています。

今後は、令和2年や令和3年に被災した箇所も併せて、順次復旧工事を進めていくよう調整しておりますので、今後とも、ご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。

Ⓐ三津大川 Ⓑ宮崎川

平成30年には三津大川周辺の道路等が浸水し、道路の一部は濁流により洗堀されました。また、令和3年には、復旧箇所が再度被災するなど、増加する局地豪雨に対応できない河川等の存在が明らかになりました。このことを踏まえ、広島県は当該河川の拡幅・浚渫・護岸の修繕、パラペットの設置（護岸の嵩上げ）を計画しています。また、下記のように計画しています。

- ①当該被災を踏まえた浸水対策の検討（三津大川及び宮崎川）
- ②新興橋・安永橋・弘化橋の架け替え
- ③架け替え前に仮橋（歩道橋）の設置（新興橋）

Ⓒ蚊無川 Ⓓ大田川

護岸や道路など河川沿いで山腹崩壊が発生し、岩や土砂が河川に流入、それにより被害が拡大しました。当該地域については、広島県と調整し、土砂等の撤去、仮設道路の設置等を行い復旧するよう計画しております。

Ⓔ岩伏川 Ⓕ木谷郷川 Ⓖ三畝川 Ⓗ太郎水川 Ⓙ蛇道川 Ⓚ隠畑川

河川沿いで溢水、護岸崩壊等が発生しました。なお、隠畑川においては、令和3年豪雨の際、護岸が崩れ、一時通行できなくなりましたが、仮設道路を設置したことにより、上流にお住まいの方が孤立することを回避できました。

それぞれの河川は狭隘な谷あいであるなど、道路が狭小であり複数の建設業者による同時施工が困難な地域となっています。そのため、地域ごとに同一の建設業者に発注し、迂回路等仮設道路を設置し復旧するよう計画しております。

Ⓚ正司畑川 Ⓛ小畑川

町内でも特に川幅が狭い箇所では、溢水・護岸崩壊等の被害が発生しました。さらに小畑川では上流で大規模な山腹崩壊が発生し、岩や土砂が河川に流入し、下流に大きな被害をもたらしました。

当該河川は、平成30年だけではなく令和3年にも大規模に被災しているため、復旧の方法について、原形復旧ではなく改良復旧（河川拡幅）を視野に入れ検討しています。なお、小畑川については、上流の治山ダム、蛇道川等の工事スケジュールとの調整を図りながら復旧を進めてまいります。



東広島市

お問い合わせ:東広島市 建設部 災害復旧推進課
〒739-8601東広島市西条栄町8番29号 本館6階
電話 :082-426-3091
ファックス:082-426-3092

E-mail: メールでのお問い合わせは東広島市ホームページ
メールフォームからお願いいたします。
<http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/cgi-bin/inquiry.php/161>

東広島市建設部
災害復旧推進課
ホームページ

